

発明の名称: 避難誘導システム

利用・用途・応用分野

無料開放特許

防災システム、避難誘導設備、分散システム化でシステムのロバスト性向上

目的・課題



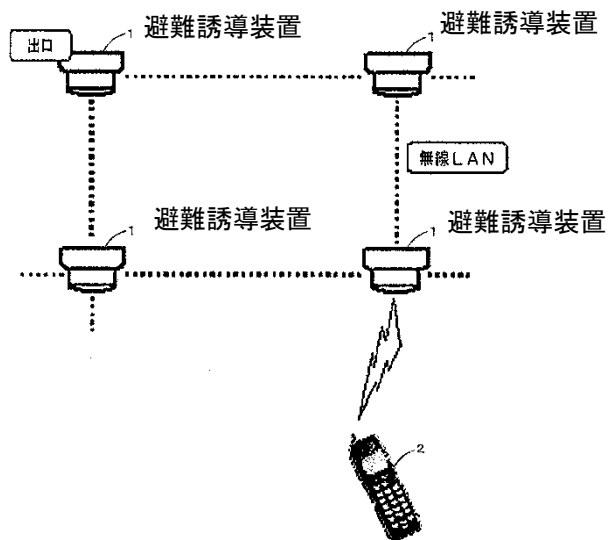
解決ポイント

現在稼動している避難誘導システムは災害発生状況や避難誘導情報を一箇所で集中管理している。集中管理方式は災害状況の把握や避難指示を効率的に管理できるが、何らかの事情でシステムがダウンしたり、通信が遮断してしまうと機能しなくなってしまう。集中管理方式の場合、システム変更に対する柔軟性がなくコストも高い。集中管理方式ではなく、インテリジェントタイプの避難誘導装置を多数用いた分散方式の避難誘導システムの提供を目的とする。

本発明では中央管理装置が無く、各々の避難誘導装置が個別にその場所における最適避難誘導情報(最適避難経路)を求めるので、災害等で一部の避難誘導装置が利用不可能になっても、避難者に避難誘導情報を伝達することができる。

研究概要・アピールポイント

【避難誘導システムの概略図】



本避難誘導装置は、通信手段、マイクロコンピュータ、センサ、避難情報伝達手段の必要最低限の機能を有していれば良く、中央管理システムが不要なので、中央管理方式に比べて安価にシステムを構築できる。実際の避難経路に沿って避難経路情報が伝達されるので、より正確に避難経路情報を避難者に伝えることができる。

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp